

資源循環への取り組み

三井物産は、環境方針に資源・エネルギーの効率的活用を掲げ、資源リサイクル事業（地上資源）に取り組むほか、廃棄物・副産物の有効利用を通じて環境問題の産業的解決を目指しています。

当社が手掛ける資源循環事業

活動

SDGs: 12.2, 12.5

事業内容	国	事業規模
リデュース/シェアリングエコノミー 当社出資先のメルカリのスマートフォン向けフリーマーケットアプリ事業を通じ、シェアリングエコノミーを推進	日本	日本でのダウンロード数：7,000万超（日米合わせて1億） 流通総額：4,929億円 （2018年4月～2019年3月）
リユース 当社子会社の三井農林では、茶葉残渣を堆肥原料に利用し、廃棄物を有効利用	日本	廃棄物削減量920.4t/年 （2019年3月期）
リユース 当社子会社の物産フードマテリアルでは、カットイチゴのヘタについて果肉を絞り、ジュースを精製	日本	廃棄物削減量13t/年 （2019年3月期）
リユース・リサイクル 当社子会社のプライフーズでは、鶏の飼育後に発生する鶏糞を肥料および炭化による融雪剤として製品化し廃棄物の有効活用を推進	日本	廃棄物削減量71,000t/年 （2019年3月期）
リユース・リサイクル 電動モビリティ向けに電池システムを製造・販売するフランス・Forsee Powerへの出資・参画を通じ、車載用電池の定置型蓄電池への二次利用（リユース）、再資源化（リサイクル）を含む電池のライフサイクルを見据えた取り組みを推進	欧州	
リサイクル 当社関連会社のエムエム建材では、ビル等の構造物解体工事や鉄鋼製品の加工工程で発生した鉄スクラップを回収・販売。また、金属以外のリサイクル事業も推進	日本	金属屑取扱量700万t/年
当社関連会社の共英リサイクルでは、主に自動車粉砕ダストをガス化溶融炉に投入。発生ガスを隣接する共英製鋼山口事業所に燃料として供給するほか、同時生成される溶熱スラグを製鉄メーカー等に販売	日本	処理能力3.3万t/年

事業内容	国	事業規模
リサイクル 当社子会社の三井物産メタルズでは、ビル・自動車・電化製品等の解体によって発生するアルミ・銅・鉛・レアメタル等の非鉄スクラップや、廃基板・廃プラスチックを回収・販売	日本	非鉄金属屑・再生塊取扱量25万t/年
当社出資先のSims Metal Managementは、世界有数の総合リサイクラーとして、金属のみならずニューヨーク市の一般廃棄物処理や電子機器リサイクル事業等を推進	北米/欧/豪・NZほか	金属屑等870万t/年

食料分野における副産物有効活用循環システムの形成

体制

当社食料本部では、農産物バリューチェーン、動物タンパクバリューチェーンの構築を通じ、農産加工品、畜水産加工品の生産時に出る副産物を有効活用する循環システムを形成しています。具体的には、大豆ミールや小麦ふすま、魚粉等を有効利用して畜産飼料や水産飼料に活用したり、大豆ミールからレシチンを精製し健康食品に活用したりしているほか、カットイチゴのヘタについて果肉を絞りジュースを精製する等、副産物を有効に活用しています。

